

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

関西の私立の栄養学科がある学校の中で、国家試験合格率、就職決定率とも100%近くであり、設備も充実していて自分が学ぶ環境としてもとてもよかったです。この学校に興味を持ったからです。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

基本的に模試対策をしていました。それ以外は、自分はもともと国公立を目指していたので、苦手だった国語のセンター対策の比率が多かったと思います。この時は、平日4時間、休日7時間を目安に勉強していました。

〔夏休み〕

夏休み中は毎日学校の講習があり、学校の後には塾の夏期講習に行き、休む間もなく勉強をしていました。この時期月に私立の過去問を解き始めました。理科は生物にするか化学にするかをまだ決めておらず、とりあえずどちらでも解けるようにしようと思って、どちらも出題範囲をすべて覚え直しました。

〔2学期～入試直前〕

私はマーク模試の出来が悪かったので、私立入試2週間前まではセンター対策ばかりをしていました。入試が近づき、過去問を解き出して、6年分の過去問を何周かやりました。英語はまだ得意なほうだったので、単語を覚え直したりするぐらいはかまいませんでした。理科は、この時によく化学を受けると決めて、無機化学を自分なりにまとめたりして理解を深めるようにしていました。最終的には、どちらも安定して8割をとれるようになりました。この時は平日5時間、休日9時間ぐらい勉強していました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私の学校は6月の体育祭が最後の行事で、クラブも6月には引退したので、両立をするまでもなく受験勉強に専念できました。私は中学受験をしていたため高校受験を経験しておらず、自分の将来が決まる受験を今回初めてしました。そのため何をどうしたらいいのか分からずストレスで体調を壊すこともありましたが、好きな音楽を聞いたりしてリラックスすることを忘れないようにしました。テレビやスマホは、学校の課題と自分の学習をルマ分終わらせようとすると思えば時間がなくなって自然と寝る前にしか見なくなりました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

予測不能なことが次々起こっていて不安でしょうし、これから先成績が伸び悩む時がくると思います。それでも絶対諦めないでほしいです。私も点数が伸びず、受験をやめたいと思うことがありましたが、合格すると努力が報われた気がして本当にうれしかったです。何があっても諦めないで、自分を信じてがんばってください。